



れんごう ふくおか

No. 350

RENGO FUKUOKA

2019年10月24日発行
発行：日本労働組合総連合会福岡県連合会
発行人・編集人：矢田信浩
〒812-0025 福岡市博多区店屋町6番5号 小松ビル
TEL. 092-283-5529 FAX. 092-283-5611
連合福岡のホームページ
<http://www.rengo-fukuoka.jp/>
連合福岡のメールアドレス
info@fukuoka.jtuc-rengo.jp

私たちが未来を変える

～安心社会に向けて～

連合第16回定期大会を開催



2019年10月10・11日、連合第16回定期大会が新宿区立新宿文化センターにおいて開催されました。大会冒頭、神津会長は連合代表のあいさつで、「富を生み出し、それを分かち合い、安心社会の構築につなげることは、労働組合だからできるということを改めて声にしたい。『私たちが未来を変える』という気概を持ち、連合はその先頭に立たなければならない。」と述べた後、連合結成30周年という節目に触れ、「多くの困難と課題を乗り越え、1989年11月に連合が結成された。この間、極端な左右に道を外すことなく、ブレずに真っすぐ歩んできた意義は大きい。私たちを取り巻く環境は、これからも大きく変化していくが、大会スローガンを胸に果敢に挑戦していこう。」と呼びかけました。

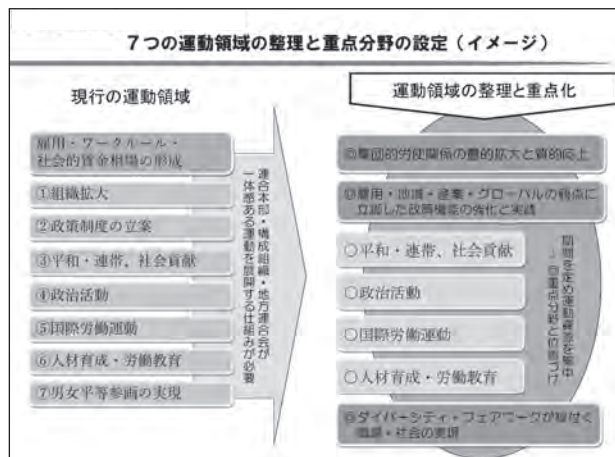
新たに確認された「2020～2021年度運動方針」は、連合がめざす社会像の実現に向けた新しいビジョン「働くことを軸とする安心社会 ーまもる・つなぐ・創り出す」を軸とする安心社会 ーまもる・つなぐ・創り出す」を実現するために、連合の7つの運動領域を、運動資源を集中させる「重点分野」と、日常的に活動を進める「推進分野」に整理され、組み立てられています。

連合福岡ではこの新たな本部方針を受け、10月30日に第22回定期大会を開催し、地方連合会としての運動方針を確認します。働くことを軸とする安心社会の実現のため、連合福岡に加盟する全組合員のご理解とご協力をお願いします。



＜連合本部 神津会長＞

＜参考＞



＜ディーセント・ワーク世界行動デー＞



＜相原事務局長＞

ついでと 告意～問

仲間だと気づききっかけを

高校の大同窓会の幹事が来年回って来るのに備えて、最近頻りに同期会を開いている。久しぶりに同級生に再会し懐かしい。一目見てわかる奴と、そうでない奴といるけど。そんな中、通勤中に川端商店街で同級生の一人とばったり会った。先方もここは日常よく通ると言う。これまでも気づかずにすれ違っていたのかもしれない。再会を経て気づくことができたのだ。街中で昔の知り合いとそうとは気づかずにすれ違ったり

接したりしていることも多いのだろう。

連合30周年の記念映像の取材で「連合タクシーに乗り」運動を撮影した。組合員は自分のタクシーに連合マークを添付し、「仲間が運転している」タクシーを連合組合員は積極的に利用しようという取り組み。UAゼンセンさんが取り組む消費やサービス提供の場での「悪質クレーム」対策も、サービス提供側と客側と、お互いが連合マークをつけていたら防げるのではないかと。連合の仲間を増やすこととともに、マークを貼らずとも「働く仲間」と思い合えることが大切なんだろうけれど。

11月30日(土) 記念講演会・レセプション開催

連合福岡結成30周年

連合福岡は今年12月1日に結成30周年を迎えます。

この30周年を、連合結成の原点を見つめ直すとともに、この間の歴史を再確認し、連合福岡に結集する私たち全員が、組織力、政策力、発信力にいっそう磨きをかけ、社会からの信頼感を高め、すべての働く者のため、次の時代に連合運動をつないでいく契機とすることを目指し、各種事業の準備を進めています。

30周年記念事業は3本柱として、「記念講演会・レセプション」、この間の歴史を振り返り記録する「記念誌」の発行、そして「30周年記念映像」の作成を行っています。記念レセプションは11月30日に開催し、前段に行う講演会では、連合本部の神津里季生会長をお呼びし、「連合が目指す社会の実現に向けて」お話しをいただきます。10月10日から11日の連合本部大会で確認された「連合ビジョン」では、「まもる・つなぐ・創り出す」をスローガンとしており、次の10年を展望し、連合の進むべき方向性を皆で共有する機会とします。



(連合30周年記念ロゴ)

30周年記念映像作成進む

「記念映像」の作成については、住民自身が地域の魅力や課題を取材し番組化する「住民ディレクター」という「東峰テレビ」のノウハウを活用し、副会長構成組織から作成委員を選出いただき作業を進めています。

すでに構成組織・地域協議会からエントリーいただいた「この間連合・労働組合が機能を発揮した」エピソードについて取材を終え、大詰めの編集作業中です。

映像はレセプションの場でお披露目するとともに、取材した映像については今後YouTubeでも公開を予定しています。

30年の歴史の中で、「連合・労働組合があっけよかった」エピソードを共有することで、労働組合が職場や社会で果たすべき役割について確認し、今後の活動に繋げる素材として活用したいと考えています。



作成委員会での編集作業



三池港（南筑後）



ビートル支援（JR連合）



ヤングカーニバルin沖縄（情報労連）



記者発表の様子

「署名へのご協力、お願いします。」～核兵器廃絶1000万署名～

連合では、核兵器廃絶と恒久平和をめざして日本政府と国連に対して次の3つを要請することを目的に「核兵器廃絶1000万署名」の取り組みを行っています。①2020年核兵器不拡散条約（NPT）再検討会議で、核兵器廃絶への着実な道筋について合意すること②「核兵器禁止条約」について、日本政府は早急に批准するとともに、各国政府はその発効をめざし、未来世代に対する役割を果たしていくこと③2025年までに世界中のあらゆる核兵器の廃絶を実現すること。

連合福岡では、各地域協議会、愛のキャンパで繋がりのある団体などの協力を得て、第1次集約の9月27日時点で1,256筆の署名が集まっています。第2次集約の12月20日、最終集約の2020年3月27日と引き続き取り組んでいきますので、皆さまのご協力をお願いします。



久留米駅前



大牟田駅前

「なぜ平和学習を行うのか？」

8月31日（土）～9月2日（月）ヤングカーニバルin沖縄2019を開催しました。1991年から開催している「ヤングカーニバルin沖縄」は連合福岡加盟の若年層組合員の平和学習と構成組織を超えた親睦や交流を目的に開催しており、今年も各構成組織の協力のもと、117名が参加をして行われました。



全体写真



チビチリガマ見学

ひめゆり資料館、糸数壕、チビチリガマでは沖縄の「昔」を嘉数高台公園、道の駅かでな、では沖縄の「今」を見学しました。戦後74年と言われますが、「今」を見ると戦争は終わっていないことを実感しました。ピースガイドを務めていただいた連合沖縄青年委員会の皆さんには、班別学習会にも参加していただき、松川青年委員長から「福岡に戻って、職場のなかまに伝えることで、この沖縄での経験が活かされる。平和の波を全国に広げて欲しい」との言葉をいただき、参加者一人ひとりが「平和」について考えた3日間となりました。

「2019平和行動in根室」

9月7日（土）、「北方四島学習会」のパネルディスカッションの中で、元島民の児玉泰子氏（北方領土返還要求運動連絡協議会事務局長）は「元気なうちに島を歩きたいと思うが、この願いが叶うかどうかは分からない。当時17,000人いた元島民も、現在5,900名しか残っておらず、私たちに残された時間はない。」と切実な思いを述べられた。一方、小宮山晴香氏（北海道総合研究調査会）からは日口の共同経済活動の事業についての説明があり「ロシアにおけるごみ削減問題は深刻化しており、日本の事例に学ぶことは多い。日本にとってはビジネスチャンスでもある」と述べられた。8日（日）の「2019平和ノサップ集会」では、冒頭、相原連合事務局長から「北方領土を含め根室周辺も共同経済活動を通じて、その価値を一層高め、両国の発展に繋げていく必要がある。今年の日口首脳会談では平和条約締結に向け協議していくことが確認されたが、手に取る形で具体的成果はまだ見られていない。わたしたちが灯す祈りの火が両国の発展を照らすよう、両政府の歩みを期待し、そして要請も行っていく」と述べた。その後、連合北海道から連合沖縄へピースリレーが行われ、6月23日（日）沖縄から始まった2019平和行動は2020平和行動へと引き継がれた。



主催者あいさつ



参加者



ピースリレー

INFORMATION

大会宣言

連合は、結成30周年を迎えた。私たちは、本大会を意義ある節目と捉え、多くの働く仲間の確かな未来を拓くため、力強く新たなスタートを切っていく。

世界は今、貧困の連鎖と固定化、不安定な雇用と格差の拡大、脅かされる人権、そして、気候変動問題など、多くの困難な課題に直面している。また、多国間主義をないがしろにする現下の国際情勢は、先人が築き上げた平和と繁栄の礎となる国際秩序をも瓦解させかねない。まさに、民主主義の危機と言える。

さらに、わが国は、人口減少と少子高齢化、技術革新のただ中にある。私たちが、この変革期を乗り越えていくには、年齢や性別、国籍や障がいの有無にかかわらず、誰もがいきいきと暮らし、輝く、活力ある社会の創造を共通の価値観として、多くの共感を得ていく必要がある。

そのためにも、安心の社会保障、中小企業の基盤強化と地域の活性化、生活と仕事のバランスがとれた働き方など、社会、地域、そして、働き方を支える基盤を一刻も早く整えなければならない。

同時に、国民一人ひとりの声を真摯に受け止め、人々の様々な不安を払拭し得る政治が不可欠である。働く者・生活者が求める政策、そして、多様な民意を反映すべく健全で緊張感のある議会制民主主義の実現に向けた着実な歩みを強く求めたい。

連合は、2035年の社会を展望し、「持続可能性」と「包摂」を運動の基底に置いた連合ビジョン「働くことを軸とする安心社会 一まもる・つなぐ・創り出す」を策定した。その実現に向け、多様なステークホルダーと社会対話を積み重ねていく。

また、私たちは、結成以来培ってきた「力と政策」に磨きをかけるべく、本大会で確立した重点分野、推進分野、基盤強化からなる新たな運動方針を全員参加の下、全力で推進し、運動を再構築していく。

それはまた、国際労働組合総連合（ITUC）の中核として、世界の労働運動をリードしていくことに他ならない。

すべての働く仲間をまもり・つなぐための集团的労使関係の追求、政策の実現と労働条件の改善、真の多様性が根付く職場・社会の実現に向けて、大会スローガンである「私たちが未来を変える」との決意のもと、安心社会に向けて広がりのある運動をつくりあげていこう。

2019年10月11日
連合第16回定期大会

SCHEDULE これからの主な日程

- 10月25日▶政策・制度要求に関する福岡県との意見交換会
- 25日▶第7回女性委員会・幹事会
- 28日▶第25回執行委員会
- 30日▶第22回定期大会
- 11月22日▶労働審判員労使懇談会
- 25日▶第1回四役会議
- 26日▶官公部門連絡会第13回幹事会
- 27日▶第2回執行委員会
- 30日▶結成30周年レセプション

ほんでも法律相談

※申し込み、問い合わせは、最寄りの地域協議会・労福協（地域労福協）に電話で予約して下さい。
10時～17時（土日祝日を除く）

エリア	11月	12月	エリア	11月	12月
福岡	12日(火) 26日(火)	24日(火)	遠賀川	29日(金)	20日(金)
筑紫・朝倉	5日(火)	3日(火)	北九州	20日(水)	18日(水)
北筑後	19日(火)	17日(火)	京築・田川	6日(水)	4日(水)
南筑後	13日(水)	11日(水)	※開催済みの日程も掲載しております		

ろうきんカードは
いつでも!どこでも!
どなたでもつかえる!

※一部の地域においては、コンビニエンスストア等のATMを地方銀行等の金融機関が設置している場合があります。その場合、地方銀行等の金融機関設置のATMは全国キャッシュサービス（MICS）扱いとなり、ご利用手数料がかかりますので、手数料をキャッシュバック（1回につき108円が上限）いたします。コンビニエンスストア等に設置されているATMがローソン・エイティエム・ネットワース、イーネットであることをお確かめのうえご利用ください。※イーネットについては、鹿児島県内に設置されているATM数が少ないため、ご利用の際はご注意ください。※1日あたりのお引出し限度額は、キャッシュカードが50万円、ICカードが200万円となっています。（最高限度額200万円まで変更できます。）ただし、1回あたりのお引出し限度額は20万円、お預入限度額は50万円となります。

2018.10

住まいる共済
火災共済・自然災害共済
風水害等給付金付火災共済・自然災害共済・個人賠償責任共済

2019年6月、
全労済から「こくみん共済coop」へ

たすけあいの輪をむすぶ
こくみん共済〈全労済〉福岡
全国労働者共済生活協同組合連合会 COOP（福岡県労働者共済生活協同組合）